

豊田市本多記念民芸の森 市民文化講座

## 青 佳 談 義(第14回)

～拳母藩士の幕末・近代～

### 海老名三平の息子たちはどう生きたか

日 時： 令和8年2月14日(土)14:00～15:30(開場13:30)

講 師： 森 泰通氏(豊田市文化財課足助分室)

内 容： 海老名家は代々三平と名乗り、拳母藩の剣術師範を務める家柄でした。

幕府が倒れ明治の世に変わると、明治五年に四代目海老名三平邦飛は帰農し花本町に移り住みました。

明治という激動の世の中で、海老名三平の息子たちは新たな夢を抱いて東京を目指し、それぞれが弁護士・化学技術者・西洋画家となりました。

兄弟で助け合いながら、新時代に果敢に立ち向かった拳母の海老名兄弟の生き方をお話いただきます。

会 場： 平戸橋いこいの広場 1階 多目的室 (豊田市平戸橋町波岩10番地)

定 員： 先着40名

参加費： 無料 事前申し込み不要につき、当日直接会場へお越しください。

なお、会場の駐車場には限りがありますので、本多記念民芸の森駐車場をご利用ください。

#### 【講師プロフィール】



昭和40年3月生まれ。名古屋大学文学部考古学研究室卒業後、豊田市役所に入庁。文化財課長、文化財担当専門監、美術・博物館長などを経て現職。

専門は日本考古学であるが、幕末から近代の人物・社会にも深い関心をもつ。拳母藩士安藤早太郎・岸田吟香などの研究をライフワークとしている。

「青佳談義(せいすいだんぎ)」は、本多静雄氏ゆかりの方々から民芸、地域の話聞き、氏の功績や人柄、エピソードを後世に伝えていくとともに地域に埋もれた歴史を再発見するものです。



旧海老名三平宅(市指定文化財)

本多記念民芸の森に現存するこの建物は、明治の廃藩後に海老名三平が移り住んだ建物で、もともと市内花本町にあったものを平成8年(1996年)に移築したものです。

豊田市本多記念民芸の森

〒470-0331 豊田市平戸橋町石平60-1 Tel:0565-46-0001 Eメール:mingeinomori@city.toyota.aichi.jp

共催:NPO法人 民芸の森倶楽部